

第5回定時総会のご挨拶

正会員ならびに賛助会員の皆様には御多用中にもかかわらず多数の御出席を賜り厚く御礼申し上げます。平素より当工業会の運営と活動に多大な御協力をいただき重ねて御礼を申し述べます。

本日は日本金型工業会が一般社団法人に移行後第5回目の定時総会、創立以来だと第60回総会となります。すなわち今年が創立60周年を迎える年であることから60周年記念式典を開催するとともに記念事業として「日本の金型」の国際ブランド化の一環としての金型マスター認定制度をスタート致します。

さて日本の金型業界は経済産業省が実施している生産動態統計によると、直近発表の平成28年の金型生産額が約3,970億円、リーマンショックの発生した前年の平成19年の4,800億円と比べると83%まで回復してきております。また、前年の平成27年の3,840億円と比較しても約3.4%増加であったように、金型業界はリーマンショックの落ち込みからの長い低迷が続いた平成21年後半から微増ですが増加基調をしめしております。

その要因として金型業界需要先60%以上を占める自動車部品（日本金型工業会調べ）を中心に金型需要が順調できたことなどが考えられるとともに、ここ近年における需要業界の品質重視並びに金型価格のトータルコスト思考による国内回帰の動きも注目しなければなりません。

団体としては取引改善として需要業界に対して、下請法に関する課題の中で金型メーカーが重要と考える価格決定方法の改善・適正化、企業努力の適正評価、知的財産としての金型図面・ノウハウの流出問題、支払条件の改善などについて（日本金型工業会調査）ご理解頂くための活動も重要な事業として位置付けています。

今年度は東京ビッグサイトで開催された「インターモールド2017・金型展2017」において正会員企業が76社出展と過去最高となり日本の金型技術を国内外に十二分にPRすることが出来ました。これも賛助会員皆様が出展下さるご協力があったのでございますので、この場を借りて感謝申し上げますとともに引き続きご出展頂く応援をよろしくお願い申し上げます。

当工業会も本日の定時総会で平成29年度事業としてご提案申し上げる委員会事業としての全国事業と地域事業としての支部事業にて会員企業をサポートしていきます。

さらに世界のものづくりは、グローバルで大競争の時代に入っています。新時代のものづくりにかかせない金型産業のため、日本金型工業会への更なる御支援、御協力をお願い申し上げます。

平成29年6月2日

一般社団法人 日本金型工業会

会長 牧野俊清